



# 木場小だより

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、  
心身ともにたくましい児童の育成  
[www.3-net13.hakusan.ed.jp/kiba-e](http://www.3-net13.hakusan.ed.jp/kiba-e)

令和5年12月 5日

小松市立木場小学校  
校長 小山貴子

TEL：0761-44-2803  
FAX：0761-44-5974  
[e-kiba@kec.hakusan.ed.jp](mailto:e-kiba@kec.hakusan.ed.jp)

## 那谷小学校との交流学習

今年度本校では、「体験活動」や「本物との出会い」の機会を多く設けることで学びを深めています。その一環として大型講師を招聘したり交流活動を実施したりしています。交流相手の一つに同じ南部中学校に進学する那谷小学校があります。2学期に行った那谷小学校の交流を紹介します。



### ①横田幸子さんと「言葉のチカラ」について考える

11月7日、フリーアナウンサーとしてご活躍の横田幸子さんを木場小学校にお招きし、4～6年生が那谷小学校の4～6年生と共に「言葉」や「友だちとの接し方」について学びました。『「光の心」から発せられる「光の言葉」、「闇の心」から出てくる「闇の言葉」があること』や、『言葉には波動があり、言葉遣いや発声の仕方を意識することで、友だちとの距離を変えられること』を教わり、詩の朗読を通して「思いが伝わる話し方」の練習や友達の良さを紹介し合いました。両校の子ども達がそれぞれの学校の友達を紹介し合う場面がとても温かく、素敵でした。

### ②梯剛之さん&ヴォルフ・ダヴィットさんの演奏会

音楽家のご両親の間に生まれた梯剛之さんは、小児ガンのため、赤ちゃんの時と中学生の時に両眼の摘出手術を受け、視力を失いました。けれども、世界の4大コンクールと言われる「ロン ティボー コンクール」で入賞したりアメリカの「カーネギーホール」でコンサートを開いたりする等、世界で活躍をされています。



小松でコンサートを開く際には、何校かを訪問して演奏会を開かれるのですが、今年度は11月27日に那谷小学校で演奏会が開かれることを聞き、木場小学校の4～6年生も参加することにしました。バイオリニストのヴォルフ・ダヴィットさんと共にモーツァルトの「ヴァイオリンソナタ18番第1楽章」を始め6曲を演奏してくださり、2校の子ども達で「ありがとうの花」を歌いました。その時の子ども達の感想です。

梯さんの指さばきを見て、「さすがプロだな」と思いました。また梯さんは「ピアノをやめたいと思ったことは何度もあったけど、結局はピアノを弾かないと落ち着かない」と言っていたこともすごいなと思いました。

目が見えないから楽譜が読めないはずなのに、難しい曲を弾いていてすごいと思いました。ピアノが嫌になった時もあるけどあきらめずにやってきたと言っていたので、私も「あきらめないこと」をまねしようと思いました。

目が見えなくてもペダルの位置でピアノの鍵盤が分かるのがすごかったです。ペダルの位置だけで弾けるほどたくさん弾いてきたのだと思いました。

私は2人の演奏の「森のささやき」が好きでした。題名からは静かな曲だと思っていたけど、盛り上がる部分など雰囲気が変わって面白かったです。

目が見えない梯さんの演奏は迫力があってきれいな音ですごかったです。音の強弱もすてきでした。バイオリンを生で聞き、とても感動しました。

### ③国語の学習成果物の交流

2年生の国語の教材に「馬のおもちゃの作り方」という説明文があり、学習の終わりに各自が自分の考えたおもちゃの作り方を説明する文を書く活動があります。それぞれの学校で学習を進めた子ども達は、自分達が生いた説明文を互いの学校に送りあうことにしました。那谷小学校から送られてきた説明文を嬉しそうに読んだ2年生は、感想と一緒に自分達の作品を那谷小学校に届けました。

### ④バスケットボール交流会

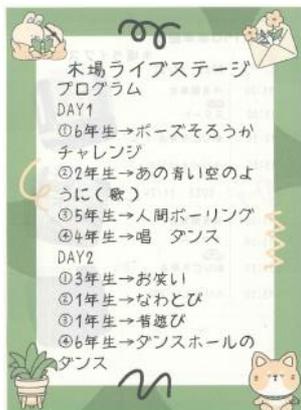
毎年バスケットボールを中心としたスポーツ交流会を行うため、過去2年間は那谷小学校の5、6年生を木場小学校に招いていました。今年度は、8日に木場小学校の6年生が出向きます。

## 野鳥観察会

22日、市立博物館の金山晃先生と一緒に4、5年生が木場潟で野鳥観察を行いました。4年生は初めての観察会、5年生は3回目の観察会となります。この活動も3年目になり、事前に木場潟を訪れる野鳥について調べてある子ども達は、お目当ての鳥を見つけようと双眼鏡を覗き込んでいました。金山先生の解説を聞くために、先生の周りには自然に子ども達が集まっています。この活動の後、4年生は木場潟南園地で巣箱をかけを、5年生は片野の鴨池での観察を4日に行い、それぞれのテーマ学習を進めていきます。



## 木場ライブステージ



11月22日、29日の昼休み、運営委員会の提案による「木場ライブステージ」が行われました。これは、子ども達が



「150周年に実現させたいこと」の一つです。全校が仲良くなりたいたいという思いから、各学年の得意なことやみんなが楽しめそうな出し物を発表し合いました。生活科の学習で地域の皆さんに教えてもらったコマ回しやお手玉を披露

した1年生、全員が一つのマイクの前に集まり歌を歌った2年生、自分たちで作ったお笑いネタを見せてくれた3年生、150周年記念事業でみたカンジヤマイムをまねてボーリングの様子をパントマイムで演じた5年生、4年生や6年生が披露したダンスでは自然に手拍子が入ったり一緒に踊り出したりするなど、みんなでステージを盛り上げ、楽しい時間を過ごしました。

お忙しい中、個人懇談に来ていただきありがとうございました。

2学期も全員対象の個人懇談をさせていただきました。日々成長を続けている子ども達の学校で様子をお伝えするとともにご家庭での様子をうかがうことができるよい機会となりました。ご家庭は子どもたちにとって心の一番の栄養を得る場所、緊張感から解放される場所であり、学校での活動のエネルギーの源でもあります。甘えたり弱音を吐いたりする時もあるでしょうし、友達との関係や学校での不満を話すこともあるでしょう。子ども達が話す不満の多くは誰かに聞いてもらうことですっきりするものですので、どうぞゆったりと受け止めてあげてください。けれどもその中に気になることがありましたら、まずは担任、学校にご相談くださるようお願いいたします。学校・家庭双方向の連携を密にし、子ども達のより良い成長を応援していけることを願っています。